平成23年3月

体協だより スポーツ高岡

第6号

新春武道稽古始め

新春恒例の武道稽古始めが、1月4日㈫県営高岡武道館及び芳野中学校の体育館・武道場において、柔道・剣道・弓道・空手道・銃剣道・少林寺拳法・合気道・太極拳の8団体による愛好者、総勢約800名が参加し、今年一年の精進を誓い、初稽古に汗を流した。

稽古に先立ち、高岡武道館で開会式を行い、高森副会長が挨拶、来賓を代表して、氷見教育長と盤若市議会議長が祝辞を述べた。模範演技として、剛柔流空手道秀武館の道場生が威勢の良い掛け声とともに形と組み手を披露した。

第6回高岡市民体育大会（冬季競技）

第6回高岡市民体育大会の幕開けとして、アイスホッケー競技が2月5日㈯富山スケートセンターで、ペンギンズ対県立大学の白熱した戦いが繰り広げられた。翌2月6日㈰には、スキー競技・スノーボード競技が極楽坂スキー場で行われた。

晴天のゲレンデのもと、小学1年生から60歳代までの選手約100名が、各部門別にタイムを競いあって日頃の練習の成果を発揮した。

ヒロインに聞く

ユース五輪　金メダル

宮原　優

写真提供／©KAMAGA

両腕を高く突き上げ、拳を強く握りしめた。満面の笑みで体いっぱいに喜びを表現する少女がいた。

2010年8月16日、ユースオリンピック（注1）のレスリング競技女子46キロ級決勝で、宮原優選手（東京・安部学院高16歳、高岡市出身）がモルドバ（旧ソ連）のレオルダ選手（16歳）を破り、見事、金メダルを勝ち取った。

レスリングを始めたのは小学1年生のとき。国体選手だったお父さんから教わった。マットの上をピョンピョン跳ねる、あどけない優ちゃんだった。中学2年生で高岡を離れ、日本オリンピック委員会（JOC）による寄宿制の「JOCエリートアカデミー」1期生となる。

あれから3年──、彼女はユース五輪でチャンピオンになった。日本レスリング界に新星現る！と注目された2010年は、新聞・テレビなどでも数多く取り上げられた。

あのちっちゃな優ちゃんが、あっという間に日の丸を背負い、闘うまでに成長している。そんな彼女の「今」を知りたくて、我々はインタビューを申し込んだ。

プロフィール
PROFILE

写真提供／日本レスリング協会

★所　　属　JOCレスリングアカデミー（平成20年度第1期生）
★生年月日　1994年4月27日
★主な戦績
≪国内大会≫
2010年　4月　JOC杯全日本ジュニアレスリング選手権大会　カデット46kg級　優勝
　　10月　全日本女子オープンレスリング選手権大会　カデット49kg級　優勝
≪国際大会≫
2010年　3月　クリッパンレディオープン／スウェーデン　カデット46kg級　優勝
　　8月　シンガポールユースオリンピック2010・レスリング競技　46kg級　優勝
2011年　1月　ヤギリン国際大会51kg級　5位
　　3月　クリッパン女子レスリング国際大会　カデット49kg級　優勝
★主な受賞等
2010年　9月　高岡市長感謝状
　　9月　富山県知事特別表彰
　　9月　文部科学省・文部科学大臣表敬
　　9月　東京都スポーツ奨励賞
　　12月　平成22年度全日本女子レスリング連盟　年間最優秀選手賞　など

◇試合結果

Q.今回の結果（ユース五輪金メダル）について、一言お願いします。（優勝が決まった瞬間、どうでしたか？）

A.すごくうれしかったです。優勝が決まった時は安心しました。

Q.金メダルは、どこに置いてありますか?飾ってあるのですか?

A.金メダルは部屋にしまってあります。

Q.試合を振り返って…予選の戦い方、また決勝は、どのような気持ちで臨みましたか？

A.とにかく自信をもって試合を楽しもうと思って臨みました。

Q.対戦する海外選手のデータは、頭の中に入っているのですか？

A.対戦したことのある選手もいましたが、今回は自分のレスリングをすることに徹しました。

Q.試合時間は長く感じられましたか?短かったですか?

A.短く感じました。楽しかったです。

◇練習・生活

Q.レスリングの面白さ・楽しさは何ですか？

A.レスリングの楽しさは、相手と肌を合わせて戦えることだと思います。それから、色々な技や展開があるところだと思っています。

全国で優勝して

藤井　靖剛（芳野中学校3年）

一度は抑え込まれ、あきらめかけた試合もあったので、決勝戦で勝った時は信じられない気持ちでした。がむしゃらでやった昨年と違って、今年は期待がかかってきたプレッシャーや、けがによる練習不足などからくる不安に、何度も押しつぶされそうになりました。でも、多くの方々の支えのおかげで、気持ちを切り替え、この試合に向けて一生懸命練習することができました。今後の目標は、高校でも大きな大会で活躍することです。そのために、これからも心技体を鍛えたいです。

「日々成長」

髙橋沙也加（高岡西高等学校3年）

私は高校最後のインターハイでシングルス優勝、ダブルス準優勝の成績を収めることができました。沖縄は予想通り暑く、体力がもつかどうか不安でしたが、今まで練習してきたことを全部出せば結果はついてくると覚悟を決めました。

5日間で17試合を戦い抜けたのは、自分の力だけでなく、周りの方々に応援していただけたからだと感謝しています。

私は4月から三洋電機に入社します。すぐに活躍できるよう今もトレーニングに励んでいます。将来はオリンピックという夢の舞台で金メダルを取れるように、日々成長していかなければと心に誓っています。

写真提供／北日本新聞社

Q.東京での寮生活、そして練習はどのようなものですか？

A.すごく楽しいです。それと、常に強い先輩方と練習出来て向かって行けるし、（道場だけでなく）トレーニングルームもあり、すごく良い環境で、幸せだと思います。

Q.体重制限のある競技の難しさはありますか？どんなことに気をつけていますか？

A.少しでもオーバーすると、試合に出られないので、すごく大変だと思います。
普段の生活から意識しているのは、スナック系のお菓子は控えるなど脂肪をつけないようにすることです。

Q.試合の前に必ずすること（食べ物）などはありますか？

A.試合前にすることは、部屋をきれいにすることです。

Q.好きな音楽を聴くとか、必ず○○を食べるっていうような答えを想像していましたが意外でした。部屋をきれいにすると、気持ちがスッキリして引き締まるってことですか？

A.試合の調子が上がるからです。

Q.ライバルはいますか？いつも意識していますか？

A.ライバルというよりも、常に超えたい人を意識して、追い抜かせるように取り組んでいます。

Q.同階級の（日本）チャンピオンとの差は何だと思いますか？

A.差は、スピード、技、全部です。どれも、もっともっと磨いて、追いついて、追い抜けるように頑張ります。

◇目標・メッセージ

Q.目標にしている選手はいますか？それは誰ですか？

A.吉田沙保里さんです。

Q.具体的には、どんなところですか？

A.全部です。（キッパリ！）

Q.今後の目標を聞かせてください。ロンドンオリンピックは？

A.近い目標としては、世界カデット（2011年）に出場して、金メダルを取ることです。将来は、リオのオリンピックで金メダルを取ることです。

Q.応援している家族やスタッフ、地元高岡の人達にメッセージをお願いします。

A.いつも応援して頂いて有難うございます。すごく支えになっています。これからもさらに練習を積んで、目標達成に向けて頑張ります。これからもよろしくお願いいたします。

自分の置かれている環境を充分に理解し、「近い目標」と「将来の大きな目標」をしっかり見据えている彼女は、実に凛としていた。

日本レスリング界の期待の星として、世界で活躍するトップアスリートとして、今後も宮原優から目が離せない。

インタビューが終わりほっとしたのか、ニコッと微笑んだ彼女は、あの頃の「優ちゃん」だった。

（注1）ユースオリンピック（Youth Olympic Games）は、2010年に第1回夏季大会、2012年に第1回冬季大会が開催されるユース世代向けのオリンピック。

平成22年度　高岡市体育協会表彰　受賞団体・個人（児童・生徒）

■柔道競技

石須　雄佑（小杉高等学校3年）
平成22年度全国高等学校総合体育大会
柔道競技　男子団体　3位

佐野賀世子（高岡龍谷高等学校2年）　〃
柔道競技　女子個人63㎏級　2位

長内　香月（高岡龍谷高等学校1年）　〃
柔道競技　女子個人70㎏級　2位

高岡龍谷高等学校女子柔道部　〃
柔道競技　女子団体　3位
（深谷　麻未・佐野賀世子・濵本　舞実・長内　香月）

藤井　靖剛（芳野中学校3年）
第41回全国中学校体育大会
柔道競技　男子個人戦90㎏超級　1位

■ソフトテニス競技

高岡西高等学校女子ソフトテニス部
第35回全国高等学校選抜ソフトテニス選手権大会
女子団体　3位
（徳川　愛実・絹野　美佳・長尾　結衣・川合　海月
市川　美友・伊藤　朱里・湯浅　香織・桐井　美穂）

■バドミントン競技

髙橋沙也加（高岡西高等学校3年）
平成22年度全国高等学校総合体育大会
バドミントン競技　女子シングルス　1位

古西佳那子（高岡西高等学校3年）　〃
バドミントン競技　女子ダブルス　2位

山口　容正（高岡第一高等学校3年）　〃
バドミントン競技　男子シングルス　3位

高岡第一高等学校男子バドミントン部　〃
バドミントン競技　男子団体　2位
（村上　慎道・山口　容正・松本アキラ・高田　真吾
児島　元気・高島　大輝・今井　隆志）

■水泳競技

関　亜喜奈（高岡高等学校3年）
第86回日本選手権水泳競技大会　飛込競技
女子10M　シンクロナイズド高飛込　2位

荒田　恭兵（高岡西部中学校3年）
第33回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
飛込競技　男子14歳・15歳3M飛板飛込 8位

矢野　由樹（福岡中学校1年）
第32回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会
男子11歳・12歳100m　バタフライ　6位

■レスリング競技

苅部　優希（富山第一高等学校2年）
JOCジュニアオリンピックカップ2010全日本ジュニアレスリング選手権大会
グレコローマンスタイル　54㎏級　2位

小倉　強太（戸出中学校2年）
第36回全国中学生レスリング選手権大会
男子　53㎏級　2位

苅部　将之（芳野中学校1年）
第14回全国少年少女選抜レスリング選手権大会
小学男子の部　6年生　42㎏級　3位

桧物　旬（東五位小学校5年）
第27回全国少年少女レスリング選手権大会
小学男子の部　5年生　26㎏級　3位

坂本　絵奈（大門小学校5年）　〃
小学女子の部　5年生　28㎏級　3位

坂本　紗奈（大門小学校5年）　〃
小学女子の部　5年生　26㎏級　3位

増岡廉太朗（川原小学校4年）　〃
小学男子の部　4年生　十45㎏級　3位

桧物　典（東五位小学校3年）　〃
小学男子の部　3年生　22㎏級　2位

畔上　浩輝（東五位小学校2年）　〃
小学男子の部　2年生　24㎏級　2位

中谷　湖雪（国吉小学校2年）　〃
小学女子の部　2年生　24㎏級　2位

■フェンシング競技

米島　優夏（富山西高等学校1年）
平成22年度全国高等学校総合体育大会
フェンシング競技　女子団体　3位

向井　愛美（伏木中学校3年）
フランス「マラソンフルーレ2010」
女子ミニム14歳以下の部　1位

■相撲競技

三木　茉耶（博労小学校6年）
第1回全日本小学生女子相撲郡上大会
6年生の部　50㎏未満級　3位

中田萌々香（博労小学校4年）
第1回全日本小学生女子相撲郡上大会
4年生以下の部　40㎏以上級 2位

竹内　陽香（博労小学校4年）　〃
4年生以下の部　40㎏未満級 3位

石黒　可歩（国吉小学校4年）
第13回全日本小学生女子相撲大会
4年生以下の部　40㎏未満級 1位

■卓球競技

阿部　桃子（高岡龍谷高等学校3年）
平成22年度全国高等学校総合体育大会
卓球競技　女子ダブルス　3位

平野　容子（高岡龍谷高等学校3年）　〃
卓球競技　女子ダブルス　3位

■ハンドボール競技

高岡向陵高等学校女子ハンドボール部
平成22年度全国高等学校総合体育大会
ハンドボール競技　3位
（山本　夏希・舘盛　志帆・高野　麻美・釣谷　胡桃
横嶋　遥・兒玉　菜夏・大石　杏奈・舘　映光
牛山　悠衣・堀内みずき・山田　歩美・横山　加奈
佐々木春乃・山林　桃子）

■弓道競技

伏木中学校弓道部
第7回全国中学生弓道大会　女子団体　3位
（廣田　光帆・米田　結華・丹波　舞・谷口　聡子）

※レスリング競技において、南星中学校出身の登坂絵莉さん（愛知・至学館高2年）が全国高等学校女子レスリング選手権大会（高校女子レスリング最高峰の大会）において、46kg級で優勝した。

全国スポレク奮戦記！ 最終回Vol.4

みなさん、こんにちは！僕は「スポレクとやま2010」祭典マスコットのきときと君です。

平成22年10月16日から19日まで「スポレクとやま2010」が行われたんだ！高岡市ではグラウンド・ゴルフ、ラージボール卓球、年齢別ソフトテニス、年齢別バドミントンの4競技に全国からおよそ1,500人が集まったんだよ。競技開始前日の16日には4競技合同の歓迎レセプションを盛大に開催し、地元食材を使った料理と郷土芸能の披露などで会場は大いに盛りあがったんだ。

17日からの試合では天候にも恵まれて、各会場では熱戦が繰り広げられたんだ。富山県選手団も大活躍したんだよ！グラウンド・ゴルフ以外の3競技には韓国代表のチームもいて、対戦選手と一緒に記念撮影をするなど、国際交流も楽しんだよ。（僕も一緒に写真を撮ってもらったんだ☆）また、各会場に設置された交流広場では、地元の特産品の販売や、地元食材を使ったふるまい鍋を提供し、みんなおいしそうに鍋を食べていて、大好評だったよ!

大会が終わって、参加者の方から、「けがをした時に、親切にしてくださってありがとうございました」といった感謝の声や、「素朴な町並みに心惹かれたので、今度ゆっくり訪れたい」といった感想などもいただいて、スポレク祭をして良かったなぁと思ったんだ。たくさんのスタッフに支えられて、全国スポレク祭は大成功!本当にありがとう！

全国に広がった交流の輪を大切にして、みんなにはこれからもスポーツを楽しんでほしいと願ってる！今回で僕の奮闘記は最後だけど、また、どこかで見かけたら声をかけてほしいな。それでは、また会う日まで！

エアロビック競技に参加して

槙　友恵（高岡市）

2年前の滋賀大会で、スポレク賞を受賞し、大勢の観客の前で再演をした時の感動が忘れられず、もう一度あの時の感動を味わいたい!と思い、今大会に臨みました。チームのメンバーとは、もう家族のような仲で、共に練習した日々は大切な時間です。そして、今回もまた、スポレク賞を頂き、最高の結果で終わり、2年前以上の感動を味わう事が出来ました。出場の際には多くの人に応援していただき、とても大きな支えになり、心から感謝したいと思います。

▶秋田スキー国体

蟹谷ともみ選手
大回転少年女子
5位入賞！

平成23年2月13～15日秋田県鹿角市の花輪スキー場で行われた第66回国民体育大会冬季スキー大会（あきた鹿角国体）で、伏木中学校出身の蟹谷ともみ選手（富山第一高校2年）が少年女子大回転で見事5位入賞を果たした。

高岡市出身の選手として13年振りの国体出場であり、少年女子の入賞に至っては初である。

今後も蟹谷選手のさらなる活躍に期待したい。

▶北信越国体

記録的な猛暑の中、富山県では7回目の開催となる第31回北信越国民体育大会が開催された。

高岡市内では、サッカー、ソフトテニス、バドミントン、ゴルフの4競技が開催され、各競技会場で熱戦が繰り広げられ、連日多くの方々に来場いただいた。

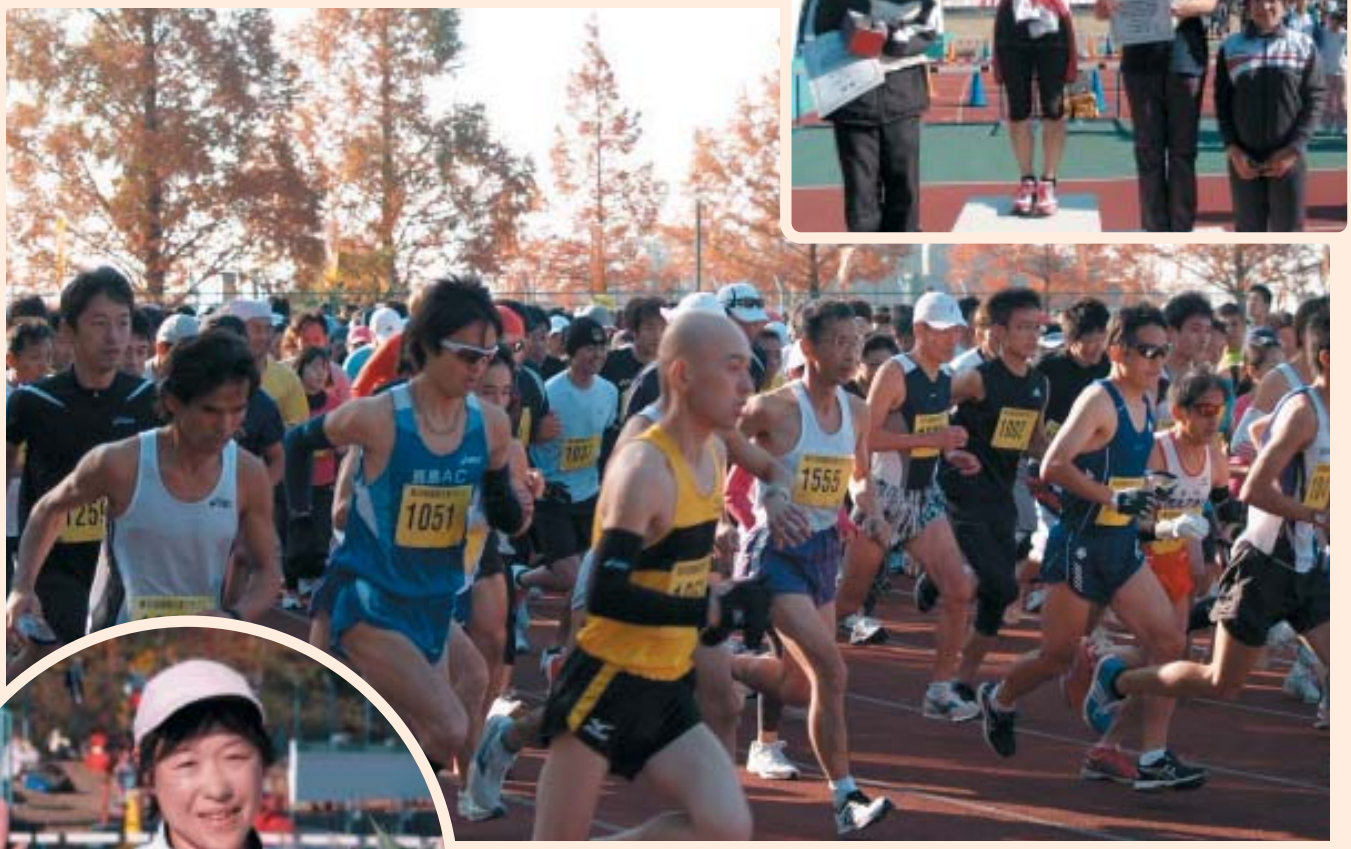
どの会場でも、地元選手への熱い声援のおかげで、サッカー（成年男子の部）、ソフトテニス（少年・成年男子の部）、バドミントン（全種別）が本国体の出場権を獲得し、猛暑以上の熱気と感動を味わう事が出来た。

「ゆめ半島千葉国体」では、バドミントン競技成年男子の部及び少年女子の部が共に3位に入賞し、サッカー競技が3年ぶりの出場で5位に入賞した。

近年国体の成績は下降線をたどっていたが、お家芸の競技を中心に配点が高い団体競技の入賞が昨年の37位から25位に躍進した原動力となった。（広報・調査部会委員　谷内　浩仁）

新「高岡市」誕生5周年記念　第30回高岡万葉マラソン

平成22年11月21日（日）城光寺運動公園陸上競技場を発着とし、第30回高岡万葉マラソンがハーフ、10㎞、5㎞、2㎞、ジュニアタスキリレー計23種別1,943名の参加のもと開催された。天候も快晴となり、ここ数年では最高のマラソン日和であった。



今大会は第30回の記念大会であり、ゲストランナーとして資生堂ランニングクラブの弘山晴美さんを迎え大会に華を添えた。また、全種別の上位入賞者へ副賞として万葉米も贈られた。

今大会から、会場付近に設けた参加者駐車場及び万葉線「米島口駅」からシャトルバスを運行するなど参加者の混雑を緩和し、また前回大会で好評であった豚汁も振る舞うなど、運営面でもサービスの向上に努めた。多くのボランティアのご協力があり、無事成功裏に終えることが出来た。

紅葉の二上山に朝日がまぶしいほどの最高のマラソン日和

私は今回の万葉マラソンにスタッフと選手で参加。スタッフとして朝6時半から会場の準備開始。受付は7時頃から続々と選手が現れ大混雑。嬉しそうな顔、緊張気味の顔、ついスタッフから「頑張って完走してね」の励ましの掛け声がとぶ。

紅葉の二上山にまぶしいほどの朝日、すがすがしい朝の空気、気温もほどよく、最高のコンディション。さあ走るぞ、きっと自己記録更新間違いなし。胸躍らせて5㎞のスタートラインへ。最初から先頭集団では目立ちすぎかしら、ちょっと遠慮して真ん中あたりで我慢、我慢。今日は飯炊き作戦、始めチョロチョロ、中パッパ、後は体力次第だ。沿道からは「がんばれ～あと少し」の声援。最後の難関は城光寺の急坂、前進あるのみ、そしてゴールイン。職場の同僚全員と完走の達成感を味わったのでした。温かい豚汁が疲れた体と心を大いに癒してくれました。スタッフの皆さんご苦労様。また来年も頑張ろう。

5㎞一般女子35歳以上　参加　高岡市体育指導委員　越生百合子

▶高岡市スポーツ少年団　野球部会

部長　黒田　英和

現在23チーム、611団員が野球を楽しんでいます。大会は、全国スポーツ少年団大会高岡市予選、本部長杯、新人大会、ドリーム大会、その他大小の大会がたくさんあり、優勝を目指して頑張っています。各チームバーベキューや、宿泊学習などを行い野球以外でもチーム内、親子の絆を深めています。

近年少子化で児童数が少なく、川原、太田、二塚などチームの存続すら危なくなった学校もあります。また野村のように児童数が多く団員50名を超えるのに、グラウンドが狭く、思うように練習が出来ないと悩むチームもあります。

大会は、小学校のグラウンドを使用しています。これは富山県で高岡市だけです。他の市町村は球場を使用しており、高岡にも早く新しい球場が出来ることを待ち望んでいます。

最近キャッチボールする親子の姿を見ることが少なくなりました。キャッチボールは会話です。親子の絆を深めるには最適です。お父さんキャッチボールしましょう。

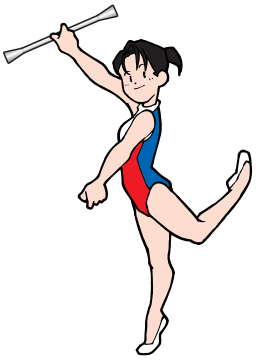
▶伏木錬成館スポーツ少年団

代表指導者　吉野優美子

伏木錬成館は、社会教育施設として各種教室を開催し、みんな仲良く、礼儀正しく、思いやりの心を育てています。その中で、バトン教室、柔（やわら）教室が、高岡市スポーツ少年団に入会して、活動の輪を広げています。

バトン教室は、現在、園児、小学生、中学生、高校生、大学生と51名が所属し、3つのチームに分かれて活動しています。

県大会、北陸大会、全国大会へと挑戦する練習、地域のイベントで私たちの活動を知っていただくための発表に向けての練習と、週2回から5回の厳しい練習を通して、精神力を養い、技を鍛えています。開設当初、小学生だけでしたが、中学生、高校生、大学生と成長しつつ、メンバーが増えてきました。友情の輪が広がり、仲間が増えました。先輩が後輩を育てるチームになってきました。全国の舞台では、私たちはまだまだ学ぶことが多く、大きな目標を掲げながら、前進していきたいと願っています。



▶高岡市体育協会研修会

今年度は、12月4日（土）高岡商工ビル4階において、「新公益法人制度」についての研修を富山県経営管理部文書学術課の福田聡浩主任を講師に招き開催いたしました。

講師から現在の財団法人（特例民法法人）は、「公益財団法人又は一般財団法人への移行が求められており、平成25年11月30日までに有識者で構成される富山県公益認定委員会へ移行申請を行わなければ自動的に解散扱いになる」、「公益財団法人に移行するためには公益目的事業を主たる目的とし、公益目的事業収入がその実施に要する費用を超えないなどの要件をクリアしなければならない」、「移行後の法人では、理事及び監事並びに評議員は、理事会、評議員会への代理出席や書面表決ができない」などをご教授いただきました。

▶来年度に向けて

高岡市小学校校長会体育行事委員会

第54回小学校陸上競技記録会

小学校体育行事委員会では、小学校長会の行事である小学校連合運動会や陸上・水泳競技記録会・泳力調査・体力テスト等を企画運営し、児童の体力向上をめざし活動している。

今年度　、体育的行事の水泳競技記録会および陸上競技記録会の見直しを行い廃止を決定した。

理由　は、来年度からの新学習指導要領実施により、学力向上、授業の充実がさらに求められ、授業時数が増化すること等により放課後の練習時間を確保することがいっそう困難になってくるからである。さらに、児童の安全確保のため、下校時刻を遅くすることができない現状も受け止め熟慮した結果である。

連合運動会　については、通算89回を数える高岡市としての伝統的な体育行事の一つである。現在は、6年生児童全員が参加し、100m走、60mハードル走、学級対抗リレーを通して互いに競い合いながら親交を深めている。この意義に鑑み、今後も児童が意欲的に取り組み達成感を味わえるよう工夫して、継続させていきたい。

また、水泳及び陸上において高い能力を有する児童には、市民体育大会への出場をさらに推し進めていくよう努力する。

終　わりに、来年度からの両競技記録会の廃止に伴い、体育行事委員会も、組織の見直しを図り、市体育協会はじめ、関係競技団体との連携強化を図り、各校における体力向上や体育科授業の指導に寄与できるようにしていかねばならないと考えている。今後とも関係諸団体のご協力を是非お願いしたい。

（広報・調査部会委員　体育行事委員長　山崎　栄三）

掲示板

志貴野中学校新体操部

「飛躍めざす新体操部」

志貴野中学校新体操部は、中学校から新体操を始めた生徒たちで活動をしています。踊ることの楽しさを体験するために取り組んだ公民館祭りの発表も、今や恒例になりました。

昨年は、市民体育大会開会式のアトラクションをはじめ、夏には、「第12回よさこい富山」にも挑戦しました。気温30℃を超す暑さの中、生徒の笑顔が光り、「能登和っちゃ賞」を受賞しました。今年は、より一層、笑顔が輝く演技で飛躍したいと思います。

（志貴野中学校 新体操部 顧問 近島直美）

編集後記

今冬は近年まれな大雪にみまわれました。一時はJRも終日運休となり通勤・通学に支障をきたすこともありました。皆さんはいかがでしたでしょうか。

さて突然ですが、あなたは右利き、左利きと聞かれるとすぐ返事ができますが靴や靴下はどちらの足からはきますか?腕組みをするとどちらの腕が上に来ますか?雑巾を絞る時どちらの手が手前に来ますか?普段何気ない行動ですが意識をしていないので即答ができません。

実際にやってみてから、その反対をやってみてください。ぎこちない動きになりますが、意識することによって脳を活性化し体がバランスをとろうとします。春先のスポーツシーズンに向け、いろいろな動きを意識してトレーニングすることをおすすめします。

広報・調査部会委員　勇崎輝夫